

第**52**期
事業報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日



株式会社





大型斜角カルバート



代表取締役社長

権藤 勇夫

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第52期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の営業の概況等につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

企業集団の現況に関する事項 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

1. 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、昨年来の米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、世界同時株安、原油・原材料価格の高騰、不動産市況の低迷、雇用情勢の深刻化等により、企業収益・個人消費ともに減退し、世界的規模での景気の悪化が鮮明となりました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、依然として続く建設投資、なかんづく公共工事・土木分野の縮減傾向により同業社間の熾烈な過当競争はおさまらず、加えて、異常な水準での資材価格の暴騰がコストアップにつながるなどますます厳しい経営環境に直面いたしました。

このような経営環境下、当社は、市場縮減、過当競争下における受注力強化を図るとともに、生産性、採算性の向上に継続的に努め、コスト競争力の強化を図ってまいりました。また、資材価格の暴騰による経営努力の範疇を超えるコストアップ要因に対処するため、製品売価を適正価格に是正する努力を継続的に取組んでまいりましたが、価格の是正にはタイムラグがあり、徐々に実績は現れたものの、当連結会計年度内に高騰した原材料費を吸収するには至りませんでした。

これらの結果、当連結会計年度の売上高については、133億28百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

利益面につきましては、経常損失では1億33百万円となり、前年同期比2億99百万円の大幅減益となりました。また、減損損失や有価証券評価損等の特別損失を計上したことなどにより、当期純損失は2億54百万円（前年同期1億43百万円の当期純利益）となりました。

(売上高の内訳)

(単位：千円)

期 別 部 門	第51期 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで		第52期 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)
コンクリート製品製造・販売事業	13,120,550	98.0	12,925,703	97.0
土 木 部 門	12,402,008	92.7	12,155,479	91.2
景 観 部 門	342,500	2.5	342,345	2.6
レジンコンクリート部門	376,041	2.8	427,878	3.2
情報機器の販売及び保守事業	—	—	272,960	2.0
貼紙、落書き防汚塗料等製造・販売事業	—	—	8,150	0.1
そ の 他 の 事 業	261,814	2.0	121,516	0.9
合 計	13,382,364	100.0	13,328,329	100.0

2. 資金調達の状況

資金調達につきましては、金融機関よりの借入れによる経常的な資金調達のみであります。

3. 設備投資の状況

- ① 当連結会計年度中の設備投資の総額は5億89百万円であります。
- ② その主なものは各工場における工具型枠及び機械装置であり、機械装置については以下のとおりであります。

工 場	内 容
佐 賀 工 場	30tクレーン
北 九 州 工 場	RC製品製造ライン一式

4. 対処すべき課題

当社が属するコンクリート製品製造業界におきましては、社会資本の成熟化並びに国、地方自治体の財政悪化により建設投資の縮減傾向が続くと想定されるものの、資材価格は安定した相場で推移するものと見込んでおります。

このような状況にあって当社グループは、市場縮減、過当競争下における競争優位強化による受注拡大、コスト競争力と採算性の向上、品質並びに生産性の向上、新商品の開発等による需要の創造等に継続的に取り組み、利益確保に努めてまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒絶大なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

5. 財産及び損益の状況の推移

① 企業集団の財産及び損益の状況の推移

区 分	平成17年度 第49期	平成18年度 第50期	平成19年度 第51期	平成20年度 第52期(当連結会計年度)
売 上 高(千円)	11,231,804	13,205,216	13,382,364	13,328,329
経 常 利 益(千円)	503,625	370,641	165,480	△133,982
当 期 純 利 益(千円)	392,058	327,571	143,975	△254,602
1株当たり当期純利益	86円98銭	69円75銭	28円77銭	△56円51銭
総 資 産(千円)	9,627,990	11,079,665	11,022,702	9,949,907
純 資 産(千円)	1,252,022	1,583,596	1,650,686	1,380,306
1株当たり純資産	144円65銭	212円77銭	229円94銭	169円09銭

(注) 第50期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

② 当社の財産及び損益の状況の推移

区 分	平成17年度 第49期	平成18年度 第50期	平成19年度 第51期	平成20年度 第52期(当期)
売 上 高(千円)	11,230,243	12,575,938	12,190,506	11,774,118
経 常 利 益(千円)	492,118	367,528	165,428	△155,031
当 期 純 利 益(千円)	386,012	331,757	156,478	△303,784
1株当たり当期純利益	85円63銭	70円68銭	31円55銭	△67円43銭
総 資 産(千円)	9,555,163	10,687,302	9,891,734	8,710,512
純 資 産(千円)	1,246,702	1,570,855	1,667,790	1,343,153
1株当たり純資産	143円47銭	212円52銭	233円79銭	164円99銭

(注) 第50期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

6. 主要な事業内容

企業集団の主要な事業内容

①コンクリート製品製造・販売事業

セメント製品の製造・販売並びに施工、一般土木工事の施工並びに管理、樹脂コンクリート製品の製造・販売並びに施工を主な事業とし、その製品は大別して、次のとおりであります。

土木製品	河川製品類	ケスタ、グリーンロック、ネクストーン、ボラボックス、げんじくん、かご舂、のり舂、がんちゃん、のぼるくん、とおりゃん瀨、擬木沈床、CCブロック、eベース
	擁壁類	パワーロック、逆Y型擁壁、PAN WALL工法、多数アンカー
	L型擁壁類	NNC、ハイタッチウォール、スーパークリフ、ガードクリフ、ノーマルクリフ
	カルバート類	ボックスカルバート、FreeFitボックス、大型斜角カルバート、アーチカルバート、スパンザウォール、Ap_pass、ボックスガレージ
	管渠・暗渠類	ライン側溝、サイドライン側溝、側溝カルバート、NJ境界集水溝、重圧管、横断暗渠
	側溝類	ピット側溝、リボン側溝、SF側溝、YCL側溝、トライポット用側溝、シントー側溝
	道路製品類	そうげん、プレガードⅡ、PGF、SGF（仮設用防護柵）
	水路類	YT水路、三面水路、軽量三面水路
	残存型枠・シートライニング	ダクタルフォーム、ダクタルライニングパネル、ゆうパネル
	機能性コンクリート	ダクタル、ゼオガード（抗菌コンクリート）
	ダ関連製品	監査廊、エレベーターシャフト、高欄
貯留システム及びシントー製品	アクアポンド、防火水槽、耐震性貯水槽、浸透側溝、浸透樹	

景観製品	舗装材	洗い出し及び擬石による平板・縁石・階段・皿型、歩車道ブロック、植込舂、植樹舂 他
	ストリートファニチャー	車止め、外柵、ベンチ、水飲み、プランター、ポール、パーゴラ、モニュメント、LEDを埋め込んだピカコン車止め、ピカコン外柵 他

レジンコンクリート製品	YRG集水蓋（U型用蓋・側溝蓋）、カーストップ、UPC階段、fitサークル、フリーボーイ、誘導ブロック、係船柱、LEDを埋め込んだピカコン車止め、ピカコンカーストップ、レジン多孔管、分岐部側板 他
-------------	--

②情報機器の販売及び保守事業

主に金融機関向け業務処理支援機器、貨幣処理機及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守を行っております。

③その他の事業

主に橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査請負、補修・補強設計業務の請負を行っております。

●土木部門

道路、港湾、河川、上下水道、宅地開発、防災など、私たちの周りではさまざまな目的で開発事業が進められておりますが、今日の開発事業は環境への配慮を抜きには考えられなくなってまいりました。土木部門では、「開発の基本は自然との共存である」という考えからさらに一歩進んで「自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する」ことを念頭においたコンセプトをもとに、国土を守り、環境を保全し、人々の快適な暮らしを支える製品を数多く生み出しています。



プレガードII



笠コンクリート



PGF

●レジンコンクリート部門

レジンコンクリートは特殊樹脂をバインダーとして自然石を固化成形した人造石です。セメントコンクリートの3~4倍の機械的強度があり、耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などにも優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な材料です。港湾、漁港の車止め、コーナー及び係船柱は塩害対策として利用されています。又、多彩な色彩表現及び優れた成形性によりアート感覚溢れる景観構成材としても幅広く利用されています。



fitサークル



メンテナンス床板

● 景観部門

街や都市の公園、テーマパークやアーバンリゾートは、人々の心の伸びやかさ、感受性の豊かさを育むうえで必要不可欠のものです。

緑地の花や樹木、自然の風景は人の心をなごませ潤いを与えます。

多彩な表情を持つヤマウの景観構成材は自然環境に広がりとお興行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



水飲み



パーゴラ

トピックス

FreeFitボックス

FreeFitボックスは頂版部材、側壁部材、現場打ちコンクリート底版部で構成される分割式の大型ボックスカルバートです。

頂版部材と側壁部材はPC鋼棒を用いたPRC構造としたため、部材厚が薄く、軽い上に長期の耐久性に優れています。

特長

●コスト縮減・品質向上

頂版部材、側壁部材をプレキャスト化したことにより、作業性を向上させ、工期を大幅に短縮することができます。また、据付調整のみの管理となり、品質および出来形の向上が図れます。

●底版構造

現場打ちボックスカルバートと同様のRC構造です。側壁底版との接合部はコンクリートのせん断キーと鉄筋継手から成り、一体打ちした底版と同等の耐力を有しています。

●PRC構造

頂版部材、側壁部材をPC鋼棒によるPRC構造とし、上下連結もPC緊張による剛性の高い構造体を形成します。



FreeFitボックス

財務諸表

貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	5,515,606	流 動 負 債	6,810,565
現金及び預金	404,526	支払手形	2,020,293
受取手形	1,501,940	買掛金	609,747
売掛金	2,094,221	短期借入金	3,631,600
有価証券	798	リース債務	20,214
商 品	11,756	未払金	406,884
製 品	1,270,778	未払法人税等	15,574
原材料・貯蔵品	133,448	預り金	2,399
仕掛品	64,620	短期設備支払手形	91,248
前払費用	24,982	その他	12,602
未収入金	23,621	固 定 負 債	556,793
その他	67,275	リース債務	66,166
貸倒引当金	△ 82,364	繰延税金負債	16,401
固 定 資 産	3,194,905	退職給付引当金	451,949
有形固定資産	2,768,947	債務保証損失引当金	20,050
建 物	629,005	その他	2,226
構 築 物	151,150	負 債 合 計	7,367,358
機 械 装 置	581,534	(純資産の部)	
車 両 運 搬 具	1,439	株 主 資 本	1,328,512
工具器具及び備品	109,767	資 本 金	800,000
土 地	1,173,329	資 本 剰 余 金	300,000
リ ー ス 資 産	85,546	資 本 準 備 金	300,000
建 設 仮 勘 定	37,174	利 益 剰 余 金	240,226
無形固定資産	40,447	その他利益剰余金	240,226
電 話 加 入 権	11,425	特別償却準備金	9,566
その他	29,022	繰越利益剰余金	230,660
投資その他の資産	385,510	自 己 株 式	△ 11,714
投資有価証券	149,547	評 価 ・ 換 算 差 額 等	14,641
関係会社株式	161,760	その他有価証券評価差額金	14,641
差入保証金	37,080	純 資 産 合 計	1,343,153
破産更生債権等	179,917	負 債 及 び 純 資 産 合 計	8,710,512
その他	105,674		
貸倒引当金	△ 248,469		
資 産 合 計	8,710,512		

損益計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
売 上 高		11,774,118
売 上 原 価		9,477,100
売 上 総 利 益		2,297,017
販売費及び一般管理費		2,435,549
営 業 損 失		138,531
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	8,698	
保険配当金収入	1,803	
業務受託料収入	11,910	
鉄屑処分収入	39,601	
そ の 他	51,027	113,041
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	82,159	
そ の 他	47,381	129,541
経 常 損 失		155,031
特 別 利 益		
固定資産売却益	61,012	
そ の 他	81	61,094
特 別 損 失		
固定資産売却損	5,254	
固定資産除却損	33,287	
減 損 損 失	45,937	
貸倒引当金繰入額	61,101	
債務保証損失引当金繰入額	20,050	
そ の 他	26,237	191,867
税引前当期純損失		285,805
法人税、住民税及び事業税	12,718	
法人税等調整額	5,260	17,978
当 期 純 損 失		303,784

株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(千円未満切捨)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資本準備金	資本剰余金合計
前 期 末 残 高	800,000	300,000	300,000
当 期 変 動 額			
剰余金の配当			
特別償却準備金の取崩			
特別償却準備金の積立			
当期純損失(△)			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当 期 末 残 高	800,000	300,000	300,000

	株 主 資 本				
	利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本 合 計
	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計		
	特別償却準備金	繰越利益剰余金			
前 期 末 残 高	1,805	561,039	562,845	△ 11,561	1,651,283
当 期 変 動 額					
剰余金の配当		△ 18,834	△ 18,834		△ 18,834
特別償却準備金の取崩	△ 1,270	1,270	—		—
特別償却準備金の積立	9,031	△ 9,031	—		—
当期純損失(△)		△303,784	△303,784		△303,784
自己株式の取得				△ 153	△ 153
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	7,761	△330,379	△322,618	△ 153	△322,771
当 期 末 残 高	9,566	230,660	240,226	△ 11,714	1,328,512

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	16,507	16,507	1,667,790
当期変動額			
剰余金の配当			△ 18,834
特別償却準備金の取崩			—
特別償却準備金の積立			—
当期純損失(△)			△ 303,784
自己株式の取得			△ 153
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 1,866	△ 1,866	△ 1,866
当期変動額合計	△ 1,866	△ 1,866	△ 324,637
当期末残高	14,641	14,641	1,343,153

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(資産の部)	
流 動 資 産	6,540,987
現金及び預金	1,062,432
受取手形及び売掛金	3,932,491
有 価 証 券	798
た な 卸 資 産	1,565,736
そ の 他	68,110
貸倒引当金	△ 88,581
固 定 資 産	3,408,919
有 形 固 定 資 産	2,935,700
建物及び構築物	795,986
機械装置及び運搬具	585,842
土 地	1,315,747
リ ー ス 資 産	85,546
建 設 仮 勘 定	41,209
そ の 他	111,368
無 形 固 定 資 産	94,841
の れ ん	42,608
リ ー ス 資 産	10,146
そ の 他	42,086
投資その他の資産	378,376
投資有価証券	205,617
そ の 他	434,346
貸倒引当金	△ 261,586
資 産 合 計	9,949,907

科 目	金 額
(負債の部)	
流 動 負 債	7,778,454
支払手形及び買掛金	2,905,807
短 期 借 入 金	4,219,996
リ ー ス 債 務	20,214
未 払 金	453,050
未払法人税等	37,521
賞与引当金	6,635
そ の 他	135,229
固 定 負 債	791,146
長 期 借 入 金	171,081
リ ー ス 債 務	76,207
繰延税金負債	16,412
退職給付引当金	461,681
役員退職慰労引当金	42,960
債務保証損失引当金	20,050
そ の 他	2,753
負 債 合 計	8,569,600
(純資産の部)	
株 主 資 本	1,366,323
資 本 金	800,000
資 本 剰 余 金	300,000
利 益 剰 余 金	278,038
自 己 株 式	△ 11,714
評価・換算差額等	△ 4,679
その他有価証券評価差額金	△ 4,679
少数株主持分	18,662
純 資 産 合 計	1,380,306
負 債 及 び 純 資 産 合 計	9,949,907

連結損益計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
売 上 高		13,328,329
売 上 原 価		10,496,518
売 上 総 利 益		2,831,811
販売費及び一般管理費		2,965,143
営 業 損 失		133,332
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	10,050	
保険配当金収入	3,890	
鉄屑処分収入	39,601	
そ の 他	90,449	143,992
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	91,438	
そ の 他	53,203	144,642
経 常 損 失		133,982
特 別 利 益		
固定資産売却益	61,012	
貸倒引当金戻入額	547	
関係会社株式売却益	68,886	
そ の 他	81	130,527
特 別 損 失		
固定資産売却損	5,285	
固定資産除却損	33,353	
減 損 損 失	45,937	
貸倒引当金繰入額	61,101	
債務保証損失引当金繰入額	20,050	
投資有価証券評価損	27,873	
そ の 他	3,513	197,114
税金等調整前当期純損失		200,568
法人税、住民税及び事業税	34,935	
法人税等調整額	14,200	49,136
少数株主利益		4,897
当 期 純 損 失		254,602

連結株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(千円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前 期 末 残 高	800,000	300,000	551,475	△ 11,561	1,639,913
当 期 変 動 額					
剰余金の配当			△ 18,834		△ 18,834
当期純損失(△)			△254,602		△254,602
自己株式の取得				△ 153	△ 153
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△273,436	△ 153	△273,589
当 期 末 残 高	800,000	300,000	278,038	△ 11,714	1,366,323

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前 期 末 残 高	10,521	10,521	251	1,650,686
当 期 変 動 額				
剰余金の配当				△ 18,834
当期純損失(△)				△ 254,602
自己株式の取得				△ 153
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 15,201	△ 15,201	18,411	3,210
当期変動額合計	△ 15,201	△ 15,201	18,411	△ 270,379
当 期 末 残 高	△ 4,679	△ 4,679	18,662	1,380,306

会社の株式に関する事項 (平成21年3月31日現在)

●株式の状況

① 発行可能株式の総数 …………… 22,024,000株

種 類	発行可能株式の数 (株)
普 通 株 式	20,024,000
第 1 回 優 先 株 式	2,000,000

② 発行済株式の総数…………… 7,506,000株

種 類	発行済株式の数 (株)
普 通 株 式	5,506,000
第 1 回 優 先 株 式	2,000,000

③ 株主の数……………571名

種 類	株 主 の 数 (名)
普 通 株 式	570
第 1 回 優 先 株 式	1

●大株主の状況

① 普通株式

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
明治安田生命保険相互会社	325,000	5.90
太陽開発株式会社	241,000	4.38
第一生命保険相互会社	240,000	4.36
株式会社福岡銀行	222,000	4.03
ヤマウ従業員持株会	195,000	3.54
株式会社鹿児島銀行	195,000	3.54
株式会社トクヤマ	181,000	3.29
株式会社西日本シティ銀行	160,000	2.91
株式会社佐賀銀行	130,000	2.36
リックス株式会社	112,000	2.03

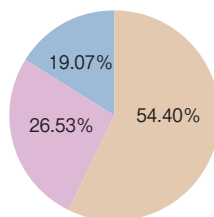
(注) 当社は、自己株式1,001,701株を所有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

② 第1回優先株式

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社福岡銀行	2,000,000	100.00

●普通株式所有者別状況

個人・その他	501名	2,995,000株	54.40%
金融機関	12名	1,461,000株	26.53%
その他法人	57名	1,050,000株	19.07%



会社概要

●会社概要

商号	株式会社 ヤマウ
本社	福岡市早良区東入部 五丁目15番7号
創業	昭和28年10月
設立	昭和33年2月
資本金	8億円
代表者	代表取締役 権藤 勇夫
従業員	241名 (平成21年3月31日現在)

●役員構成

代表取締役社長	……………	権 藤 勇 夫
常務取締役	……………	中 村 健一郎
取締役	……………	伊 佐 寿 起
取締役	……………	尾 野 友 信
常勤監査役	……………	平 野 貞 義
監査役	……………	長 野 紘 一
監査役	……………	加 納 硬

(平成21年6月26日現在)

●事業所

営業所 福岡中央、福岡東、北九州、久留米、佐賀、唐津、大分、大分北、
宮崎、延岡、日南、高鍋、都城、鹿児島中央、鹿児島北、鹿屋、
霧島

工場 福岡、北九州、佐賀、大分、宮崎、川南、高崎、鹿児島

(平成21年6月26日現在)



高崎工場



鹿児島工場

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
Tel 0120-232-711 (通話料無料)

公告掲載方法 日本経済新聞

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*) 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

この冊子は再生紙を使用致しております。